

# 令和 8年度予算見積調書

課室名：森づくり課  
 担当名：木材利用推進・林業支援担当  
 内線：4318 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
P89	新たな県産木材流通体制整備事業				一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	木材利用拡大対策事業費	
事業期間	令和 6年度～令和10年度	根拠法令	森林・林業基本法、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律				針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1203 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大	SDGsゴール SDGsターゲット	11, 12, 15 11-a, 12-8, 15-1,
1 事業概要 川上から川下が連携して、工務店等が求める時期・質・量の県産木材を供給する新たな流通体制の整備を支援し、県産木材供給量の増加を図る。  ア 流通体制構築支援事業 13,896千円 イ 県事務費 1,431千円					5 事業説明 (1) 事業内容 ア 流通体制構築支援事業 13,896千円 「新たな県産木材流通体制」として構築する「県産木材情報共有システム」の運営を支援する。 イ 県事務費 1,431千円 「新たな県産木材流通体制」の周知及び参画を呼び掛ける説明会等を実施する。  (2) 事業計画 ア 流通体制構築支援事業 システムアップデート・制度運営支援【補助金13,896千円】 県産木材情報共有システムの改修、更新及び追加機能実装、参画事業者間の調整等 イ 県事務費  (3) 事業効果 川上から川下までの需給情報を一元的にまとめることにより、需要に応じた生産や工務店等が求める量、規格・品質の県産木材を容易に入手できる環境を整えることにより県産木材の供給量の増に寄与する。 県産木材の供給量 令和6年度：87,000m3 → 令和8年度：120,000m3 【活動指標(アウトプット)】県産木材情報共有システムのアップデート 【成果指標(アウトカム)】県産木材情報共有システムへの参画事業者：30者 県産木材の販路を拡大し、工務店等が求める量、規格・品質の県産木材を容易に入手できる。 県産木材が使用されることにより、森林の若返りが進み公益的機能が維持発揮される。  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 川上から川下までの木材関連事業者や工務店などのシステム参画事業者とシステム運営事業者が連携し、当事者の意見を集約することで、利用しやすいシステム運営を目指す。					
2 事業主体及び負担区分 【内閣府】 地域未来交付金 ア (国1/2、県1/2) イ (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人＝19,000千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比	
		国庫支出金								
決定額	15,327	6,948						8,379	△27,894	
前年額	43,221	17,399						25,822		

## 事業内訳書

事業名	新たな県産木材流通体制整備事業		
単位事業名	流通体制構築支援事業	予算額	13,896千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 林業費補助金	6,948	△10,451	【内閣府】 地域未来交付金 補助率 定額
一般財源	6,948	△10,451	
合計	13,896	△20,902	

### ○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	13,896	△20,902	新たな県産木材流通体制構築に係る支援
合計	13,896	△20,902	

単位事業名	県事務費	予算額	1,431千円
-------	------	-----	---------

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	1,431	408	

単位事業名	県事務費	予算額	1,431千円
-------	------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	1,431	408	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	322	0	出張旅費
需用費	251	100	事務用消耗品、ガソリン代、普及・啓発資材作成費
役務費	154	△236	新聞広告掲載費
使用料及び賃借料	160	0	会場使用料
負担金、補助及び交付金	544	544	展示会出展負担金
合計	1,431	408	